

騒音の波形 即時表示

マイクロネットが低減試験装置



フィードフォワードとフィードバック

2アルゴリズム対応

【横浜】マイクロネット（川崎市川崎区、浜三弘社長、044・244・9406）は「ANC騒音低減試験システム」を発売した。騒音低減の研究開発に対応した実験装置で、リアルタイムで騒音の波形をパソコン上で見ることができ、価格は350万円（消費税抜き）。家電、医療機器、情報機器メーカーの研究者などを対象に初年度20台の販売を見込む。

同システムはANC程度の長さを確保でき（アクティブ・ノイズ・コントロール）試験装置とパソコン上で動作するアプリケーションソフト・ANCコントローラーなどで構成。排気タクトなど騒音の発生源と低減したいポイント間がある。同システムは機器から出る低減したい騒音を、スピーカーから出る逆位相の音を干渉させることで低減する仕組み。これにより、デモシステムでは104分の騒音が86分に低減したという。装置内の信号処理波形をリアルタイムにアプリ上のオシロスコープに表示して解析可能。またアプリ上の周波数アナライザーで装置内で求めているシステムの伝達関数を即時表示する、オシロスコープと周波数アナライザーを観測しながら、ANC稼働中でも操作部から各種パラメーターの変更ができるなどが特徴だ。

同システムは機器から出る低減したい騒音を、スピーカーから出る逆位相の音を干渉させることで低減する仕組み。これにより、デモシステムでは104分の騒音が86分に低減したという。装置内の信号処理波形をリアルタイムにアプリ上のオシロスコープに表示して解析可能。またアプリ上の周波数アナライザーで装置内で求めているシステムの伝達関数を即時表示する、オシロスコープと周波数アナライザーを観測しながら、ANC稼働中でも操作部から各種パラメーターの変更ができるなどが特徴だ。

低減試験装置

同システムは機器から出る低減したい騒音を、スピーカーから出る